

館報

# おみ

5月号  
No.530

2011. 5 .25 (平成23年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館  
TEL 0263-67-2240



豊作を願って「田舎体験塾」の田植え。(記事3面に)

開眼落慶法要と

火渡り護摩

福満寺仁王像修復完成

福満寺では、五月三日例大祭にあわせて、修復の終わった金剛力士像（仁王像・村宝指定）と仁王門の開眼落慶法要が実施されました。当日は損傷箇所が補修され力強い姿がよみがえった仁王像の前での開眼法要の後、十一年ぶりの火渡り護摩が行われました。護摩堂前での大導師による法楽（ほうらく）に引き続き導師や役員など関係者が、修復された仁王門を通り火渡りの会場まで法螺貝を吹き鳴らし行列を作って進みました。行列には地元の小学生八人も、揃いの修験者の装束を身にまとい稚児として参加しました。



お揃いの装束で

護摩供養の後、塩で清められた残り火の上を、先ず導師が渡り、その後から関係役員や大勢の参拝者が次々と裸足



心頭滅却！

で渡りました。

また会場の周辺では、地区有志の団体「薬師会」により張られたテントで熱い豚汁や酒が振る舞われ、参拝者は一面の菜の花の中、思い思いの場所楽しんでいました。修復された金剛力士像を拜んだ参拝者からは、「補修前に比べ、見違えるほど立派になった。」と賛嘆の声が上がっていました。

なお、福満寺護摩寺会には、五月十九日長年にわたり福満寺の貴重な文化財を守ってきた功績が認められ、県文化財保護協会から文化財保護功勞者表彰が授与されました。

地域の「宝物」再認識

福満寺ウォーキング

NPO法人善光寺街道歩き旅推進局が主催する「福満寺ウォーキング」が五月三日に行われ、村内外の五十人余りが聖高原駅からシェーンガルテンおみまで歩きました。善光寺街道歩き旅に取り組む同局が地域の持つ「宝物」に光を当てる「枝道歩き」として企画したコースは、根尾地区の芦沢川に残る明治期の石積み堰堤から天神坂を半在家にぬけ、この日、例大祭で仁王像開眼落慶法要や護摩供養・火渡りの行が行われた福満寺を經由するものでした。



麻績宿本陣前を通過



甘酒でひと息（根尾地区）

根尾地区では、説明板を設けるなど堰堤周辺を整備し、当日はウォーキング参加者を甘酒でもてなすなど、区を挙げての歓待でした。福満寺では薬師会の豚汁のふるまいがあり、国重要文化財の薬師三尊を拝観し、火渡りに参加した人は、「とても貴重な体験になった」と喜んでいました。

また、この催しのために新たに作られた「堰堤」「福満寺薬師如来」「北アルプス選拝所」「シェーンガルテンおみ」の四種のスタンプが、各ポイントで手づくりのスタンプ帖に押印され、すてきなスタンプで、よい思い出になる」と好評でした。秋にもやってくる「次はいつやるのか」という声も上がり、歩き旅推進局では検討を始めています。

聖山風

手塚治虫の鉄腕アトムは、確かに小型原子炉で動く設定だったはずだ。子どものころ、「原子」や「電子」は科学を感じさせる言葉だった。原子力発電というのは、核分裂エネルギーというなにか不思議な力で電気を起こすことだと思っていたので、湯を沸かして水蒸気でタービンを回して発電すると知ったとき、やかと同じか」と拍子抜けした気分になったのを覚えている。

東日本大震災は、死者・行方不明者が二万四千人を超す大惨事となった。東京電力の福島原発はメルトダウン（炉心溶融）を起こし、周辺住民は避難を余儀なくされている。今回はつきりしたのは、発電原理は「やかんと同じ」で単純であっても、このシステムを現在の科学技術で制御するのは難しい、ということではないか。放射性廃棄物の最終処分さえできずにいるのだ。ツケを未来の世代に回すよいうなことはしたくない。中部電力浜岡原発の運転も止められた。日本のエネルギー政策が転換されようとしている。

# 「田舎体験塾」

麻績村民が企画する体験ツアー「田舎体験塾」の第一回は二十日から二泊三日、村内で開きました。関東方面から参加した八人が苺のこま打ちや田植え、山菜採りに挑戦し、春の麻績村を満喫しました。



こま打ちに初挑戦！

体験塾は村民でつくる「NEW曼陀羅(まんだら)の里を輝かす会」と「元氣村づくり麻績・SONS F」の共催。都会の人たちに農業体験を通して田舎の良さを味わってもらい、農産物の紹介や販売促進など、活気ある地域づくりにつなげようと、今年で六年目を迎えました。今年度は来年三月までに五回来村してもらい、米作りや野菜の収穫、そば打ちやおやき作り、

地域の散策など田舎ならではの体験巡りを予定しています。

第一回初日は下井堀公民館前で、シイタケとクリタケのこま打ちに挑戦しました。参加者たちは会のメンバーの指導で、ほだ木約八十本にドリルで穴をあけ、金づちで菌のこまを打ち付けました。苺は来秋以降に収穫が見込めるそうです。翌日は一日がかりで田植え作業に汗を流し、最終日は山菜を採りながら聖高原を散策しました。昨年からの参加している埼玉県富士見市の長谷川道子さんは「田舎ならではのおもてなしは、ここでは体験できない。これで元気をもらって帰っていきな」と喜んでいました。

## みんな集まれ

「おみっこ元氣くらぶ」

「放課後子ども教室」

活動開始！

「おみっこ元氣くらぶ」と「放課後子ども教室」の合同開会式が五月十四日に行われました。当日は晴天に恵まれ、保護者や児童など約八十人が集まり、本年度の活動が始まりました。

第一回の活動は信州大学の学生でつくる「YOU遊世間」

で企画した「麻績っこ探検隊！」です。地域交流センターで子どもたちが昼食用のおにぎりを作り、それをバッグに詰めて「麻績神明宮」を目指します。



ここ私知ってる～！

ウォークラリーの出発時に渡された「おみむらMAP」には信大生からの指令がたっぷり。「MAP」に掲載された写真を手がかりに、子どもたちは見覚えのある看板や石碑を目指して目的地へ進みます。いくつかのチェックポイントを過ぎるころには、最初、あまりなじめなかつた子どもたちも打ち解け合い、高学年の子が低学年の子を気遣うなどのチームワークと素敵な笑顔を見せてくれました。

今後の活動で、子どもたちがどのような姿を見せてくれるか楽しみです。

## 公民館クラブ・サークルをご紹介します

麻績村公民館には、公民館主催の教室や講座の他に、クラブやサークルによるさまざまな活動があります。本年度、地域交流センターや第二公民館を中心に活動するクラブやサークルをご紹介します。なお、左のクラブ一覧の内容は、昨年度末に公民館に提出いただいた「クラブ調査」

によるため、現在の活動内容と違う場合がございます。また村には、この一覧のクラブの他に、スポーツ関係の愛好会やクラブ、さらに公民館に所属しないサークルもいろいろ活動しております。ご覧になって、これらのクラブやサークルへの参加や見学を希望される場合は麻績村公民館事務局までご連絡ください。

お問い合わせ・連絡先  
麻績村公民館事務局  
電話 六七 二三四〇

## 公民館で活動をしている主なクラブ

クラブ名等	活動日
マクラメ	月1回
カラオケ教室	月2回
囲碁クラブ	月2回(第2・4土曜日)
茶道クラブ	
エアロビクラブ	
トンネル句会(俳句)	月1回
日本吟道 誠月会	週1回練習 年1回講習会他
押絵・木目込人形	月2回(隔週水曜日)
麻績村食を考える会	年3回他
オハナomi(フラダンス)	
太極拳	毎週月曜日
麻績マニアーズ(マジッククラブ)	
麻ノ実短歌会	
月読句会(俳句)	
聖小菊の会	月1回
麻績コーラス	毎週木曜日
童謡を唄う会	月1回(第3水曜日)
麻績写真クラブ	
麻績の歴史等を紙芝居にする会	
麻績美術クラブ	
民謡クラブ	
聖健康クラブ	
社交ダンス	毎週火・金曜日
麻績の歴史等を学ぶ会	

## 麻績村の あんな話やこんな話

五月は本格的に農作業が始まるとともに、各地で春の祭典が行われます。最近ありました村内のできごとを中心にご紹介いたします

### 「道切りの大わらじ」

(梶浦)

梶浦では、毎年八十八夜に「道切り」を行っています。今年も、五月二日の午後、荒神堂(旧公民館)へ地区全戸が稲わらを持って集まり大わらじを作りました。できあがると、あらかじめ宮本の神明宮から受けてきたお札を竹にはさみ、それを結わえて地区の入口五か所へ縄を張り中心へ高々と大わらじを吊るします。わらじの外側にはみだす家々には、小さなお札が配られ、それを貼って「道切り」の代用にするとのこと。わらじを吊るし終わると、荒神堂の祠にお神酒を供え一年の無事を祈ります。大わらじを吊るすいわれは、疫病神が来たときに、ここにはこんな大きなわらじを履く力持ちの大男がいるのだと脅かすためだとか。

村内でも正月の「どんど焼き」に集めた松飾りを注連縄にするなど「道切り」の風習が残っている地区は他にもありますが、大わらじを供えるのは梶浦のみです。いつまでも続いてほしい伝統の「道切り」です。



みんなで大わらじ作成中

### 「生命の貯蓄体操」

(和合)

今から三十三年ほど前、当時の塚原啓子保健師が保健補導委員会で「生命の貯蓄体操」を導入し、村内各地区で始められ、続けられてきました。「生命の貯蓄体操」とは、東洋医学の考え方を基礎に考案された「日本式氣功養成術」

です。臓器や組織の恒常性維持機能と自然治癒力を高める運動で、反動や体重を利用してゆっくり行うため、子供からお年寄りまで、だれでも気軽にできる体操です。だんだん解散する地区が出て、最後は和合地区の四人のグループだけとなりましたが、ついにこの三月で解散されたそうです。グループの方は「継続は力なり」の言葉に励まされ頑張ってきましたが、年を重ね体力的に難しくなってきた。しかし、ケガもなく足腰丈夫に過ごせたのは、この体操のおかげと感謝している。」と、おっしゃっていました。



おかげで元気です

### 松本市民大会優勝!



チームワーク抜群!

第五十四回松本市民体育大会春季剣道大会が四月十七日、松本市総合体育館で行われました。麻績村からは中学男子の部に二チームが参加し、みごと、麻績少年剣道クラブAチームが優勝を果たしました。メンバーは、いずれも三年生で、桐山達哉君、原一真君、峯村岳人君、市川真君、森山貴幸君の五人です。この大会での優勝は実に二十年振りであり、昨秋の大会では準優勝だったことから、接戦を制しての優勝は本当にうれしかったそうです。六月中旬には、県中学校体育連盟の試合が控えているとのこと。この優勝を弾みに今後も活躍が期待されます。

### 聖湖へら鮎釣大会

第二十二回を数える「聖湖へら鮎釣大会」が五月十五日に開催されました。全国各地から総勢百四十人の釣り人が集まり、早朝より熱い戦いが繰り広げられました。結果は次のとおりです。

#### 一般の部

優勝 齊藤 繁 8.9 kg 岡谷市

#### 準優勝

千野 喜弘 7.8 kg 塩尻市

#### 第三位

荻原 暉雄 7.3 kg 小諸市

#### レディースの部

優勝 合津加津美 1.3 kg 安曇野市

#### 大型賞

優勝 小口 正敏 35 cm 塩尻市



優勝を目指して

「シェーンガルテンおみ」  
で記念イベント

庭園の改修工事が終了したシェーンガルテンおみで二十一日・二十二日の両日、記念イベントが開かれました。淡墨桜の記念植樹や村民花壇の植栽、有志による山野草展があり、庭園の完成を祝いました。以前根尾地区と交流のあった岐阜県本巣郡根尾村（現・本巣市）から樹齢千五百年以上といわれる国指定天然記念物「淡墨桜（うすみさくら）」の苗木が届き、庭園内に植えられました。本巣市に縁のある詩人・石川春彦さんの協力で実現し、庭園と根尾地区、野田沢地区の三箇所計六本植樹されました。石川さんによると、「咲くには現地では二、三年だが、違う土地では十三年かかる気むずかしい桜」とのこと。集まった関係者たちは桜の無事の生長を願っていました。

また、花壇の植栽には、ペチュニア・ペゴニア・バーベナの苗約四百本を庭園の一角に設けられた花壇に植え込みました。あいにくの雨でしたが、ご協力いただいた村民の皆さんが手早く作業し、きれいな円状の花畑ができました。



無事に育ちますように

「田植え体験」  
守成クラブ

五月二十二日、昨年に続き守成クラブ信州松本の「田植え体験」が市野川で開催されました。会の創設者の伊藤さんは北海道から、また東京や群馬の会の方や、昨年参加したりピーターの方など約五十名の皆さんに体験していただきました。当日は、自分の日頃の行いが悪いせいなのか、開会式直前から見事に雨と強風！天気予報では午後から雨の予

報が、ピンポイントで田植えの時間に。松本市深志神社の神主さんに、作業の安全と豊作を祈願していただいた後、冷たい水に悲鳴をあげながらも皆さん元気に苗を植えて頂きました。なかには、普通の長靴で田に入り見事にしりもちをつき笑いを誘う場面も。あまりの天候に、手植えの二枚の田を一枚に減らし残りは機械で植えました。そんな天候の中、無事田植えも終わり村内の女性協力者の皆さんが用意した山菜尽くしの昼食で、参加者と交流を楽しみました。昨年も大好評で、今年もこの食事を楽しみにしていく方も多かったです。田の管理や食事・準備などに多くの方々に協力いただき本当にありがとうございます。次は秋の稲刈りハゼ掛け体験。東北の被災地に義援米として贈る計画もあるので、豊作になることを願っています。

また二十六日には、守成クラブが縁で松本市の「ささべ幼稚園」と「麻績保育園」の年長さん同士の田植え体験が市野川の大峠の水田で実施されました。



みんなそろって



おもちやのおうち便り

みんな  
あそびにおいでよ!!

こんにちは、ななこです。今回は、おもちやのおうちはお休みで、キッズクラブに遊びに行きました。ママ達は、机に向かって何やらゴソゴソ。新聞を丸めたり、折り紙を貼ったり。あなたはまだ何もやらせてもらえず。くやしいからいっぱいいたずらしてやったわよ！そんなあたちのいたずらを尻目に、ママ達が作っていたのは、カラ揚げ、タコさんウインナー、それにおにぎり！他にもいっぱい。箱に詰めたら、おいしそうなお弁当ができたよ！本物みたいにとてもおいしそうだったなあ。

おもちゃのおうち日程表

期 日	内 容	場 所
6月 2日(木)	お 誕 生 会	交流センター
6月 9日(木)	こいのぼり寿司会	保健センター
6月16日(木)	体を動かそう	交流センター
6月23日(木)	保育園開放	保 育 園
6月30日(木)	小児救急法	交流センター

予定変更の場合があります

時間：午前10時～12時 持ち物：おにぎり、水筒

問い合わせ・申し込み先  
麻績村役場保健センター  
保健師  
(電話六七三 一)へ

# はるをみつけたよ 1年生

「先生、道にお花が落ちていたので、学校に持って来ました。」と言いながら見せてくれたのは、綺麗なピンク色をしたシャクナゲの花でした。もうすっかり春です。

みんなで学校周辺を歩き、「春探し」をしました。見て、触って、匂いを嗅ぎ、野の花で遊びました。田んぼでは、タニシやヤゴ、アメンボを見つけました。



## 元気通信!!

～今月の小・中学校～

運動部はもうすぐ大会があります。部活にも応援練習にも全力で取り組んでいます。

### 入部式

入部式がありました。私はバレー部に入部しました。バレー部は、私だけしか入らないので、最初は一人で先輩達とうまくやっていけるかとても心配でした。でも自分で決めたことなので一人でもがんばろうと思って入部しました。

私は入部式で、「先輩達に迷惑をかけないよう」に、一生懸命部活に取り組み」と言いました。なので、言ったからには、このことをしっかり実現したいです。

### 参観日

四月二十二日金曜日に参観日がありました。私達のクラスでは、国語の授業で、「雨の日と青い鳥」という物語をやりました。

初めて読んだ物語だったので途中でひっかかりたりしてうまく読めませんでした。それに、お母さんや、お父さん達が見ていたので、少し緊張してしまっただけ、楽しく授

業が受けられて良かったと思います。これからの授業も、一生懸命受けたいと思います。

二年 塚原 楓



授業参観の様子

### 修学旅行

僕たちは、京都・奈良・広島に行きました。

一番印象に残ったのは三日目に行った広島です。実際に見た原爆ドームからは当時の悲しさが伝わってきました。

平和の子の像で平和を祈り、二一も行いました。平和を祈り、クラス全員で折った千羽鶴を捧げ、「夾竹桃」を合唱しました。

僕はこの日の体験を忘れずに、これからの平和について考えたいと思いました。未来が戦争のない地球であるように。

三年 峯村 岳人

一年生の皆さんは、給食の後に行われる読書の時間をとても楽しみにしています。子ども達は、お話を耳を傾け、挿絵を隅々まで見ています。読み終わると、「あ、そうだったのか。」「おもしろかったね。」と、感想を言ってくれます。読み聞かせは、みんなです。読み聞かせは、みんなです。読み聞かせは、みんなです。

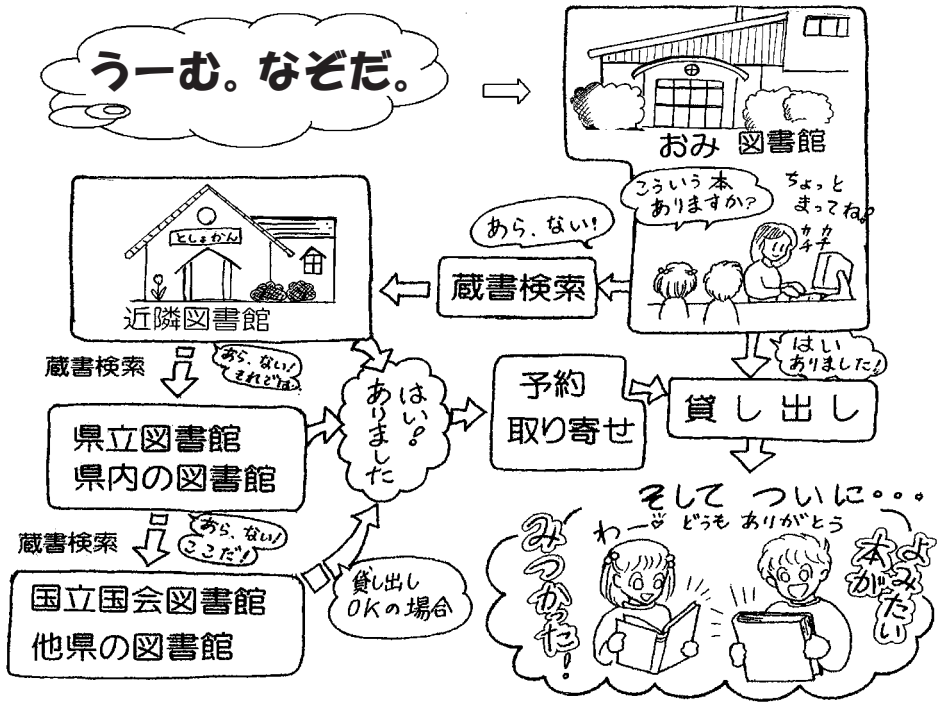
麻績小学校 土屋 直子

## 5月の500日

学校の周りの田んぼに水が入り、田植えの準備が進んでいる。苗が植えられ、やがて秋には一面が黄金色に染まる。連休も終わり、五月がスタートした。新たな環境にも慣れ、学校生活本格始動の準備は整った。今月が本物になるための正念場。緊張感を持って頑張ってきたことを習慣化するための大切な時だ。実りの季節に向けて。手をかけ、目をかけ、心をかけて。苦の種が楽の実をつけることを願って。

筑北中学校 土屋 智則

わからなかったら おみ図書館へ行こう



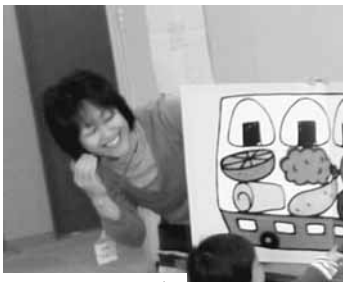
本の森だより

おみ図書館

ようこそおみ図書館へ ー職員紹介ー



↑土曜日担当の飯森仁美です。確実に本をお届けします。大きな文字の大活字本を長野県立図書館から取り寄せて、手渡しているところです。筑北村の方もいらっしゃいます。



午後担当の桐澤久美です。↑健やかに成長することを願って乳幼児にお話を届けています。赤ちゃんから絵本をどうぞ。

新人の山田ひかりです。↓今年から図書館にお世話になっています。得意はパソコンです。図書館のホームページもリニューアルします。お楽しみに！

ブックスタート  
6月22日  
昨年度生まれた赤ちゃんに本をプレゼント



橋渡久美子です。→今年から学校図書館を主に勤務。読書を通して豊かな感性が育まれることを願っています。写真は、「お話を聞いて心に残った場面の絵を描こう」



谷口ゆかりです。→特徴のアニメ声は乳幼児、児童にも大うけです。高齢者担当でがんばっています。レファレンスならお任せあれ。午前中主に勤務しています。



守り守られ伝えられる 仁王像（資料より）

上井堀金剛力士像及び仁王門修復実行委員会より5部資料をご寄贈いただきました。修復の過程が載っています。ご覧ください。

みんなでぞでてる 5月のおみ図書館

4月貸し出し冊数	
一般	686冊
児童	1273冊
来館者数一般	912人
来館者数児童	1308人



根尾の宮下勝利氏写真展  
ーナパールの山を歩いてー  
壮大な山の写真をご覧ください。

### どうもありがとう ございました

麻績村地域交流センターのポストに四月二十八日の朝、封筒が入っていました。封筒の表には「児童クラブ様 少ないですが使ってください」と書かれており、一万円札が入っていました。本当にありがとうございます。お金は、お気持ちのとおり児童クラブの運営のために使わせていただきます。



熱心な参加者の方々です

### 雨の中での

#### 自然観察会

本年度一回目となる「自然観察会」が五月二十二日、聖高原で開催されました。当日は雨に霧というあいにくの天気でしたが、参加者の皆さんは新緑の聖高原の中を思い思いに散策し、春の訪れを確かめていました。次回は六月二十六日に福満寺から野田沢方面にかけての開催を予定していますので、

大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

### 上級救命講習会

#### 開催のご案内

上級救命講習会を次のように開催しますので、是非ご参加ください。

#### 一 講習日時

六月二十五日(土)

午前九時～午後五時まで  
二 会場 麻績消防署

#### 三 定員 二十名

六月二十三日(木)

#### 四 受講料 無料

電話 六七 二九九二(麻績)  
六二 二九九二(明科)  
・申込締切日

#### 五 申し込み方法

麻績消防署または明科消防署に直接受講申込書記入、もしくは電話申し込み。

#### 六 内容

麻績消防署と明科消防署では、傷病者への救命効果向上を図るため、上級救命講習会を開催します。大人・小児・乳児を対象とした人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)の実技、AED(自動体外式除細動器)の使用方法、出血時の止血法の応急手当などの講習を行います。

## みなお場

### 高齢化を迎えて

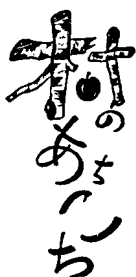
戦後の著しい経済発展や医療技術の進歩、社会保障の充実などを背景に、国民の平均寿命はいまや世界最高レベルになりました。麻績村でも高齢化率は四十%を超えるに至り、ますます高齢者の役割に期待が高まっています。この状況下では、いくつになっても元気で、自らの役割を担いながら生きがいを持って、いきいきと暮らす生涯現役でありたいものです。そして、支え合い安心して過ごせる長寿地域を創造しようではありませんか。

### 宮下忠博

住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けることは、すべての人が抱いてい

る願いだと思えます。私たち高齢者はとかく、家に閉じこもりがちになります。老人クラブ活動等に積極的に参加し、今まで経験してきた自分の知識、体験等を活かして高齢化社会を支えようではありませんか。地

### ご冥福を祈る



- 宮嶋與一郎 67歳 下井堀
- 関 武子 76歳 女 淵
- 久保田せい子 73歳 市野川